

農地を守れ！第3滑走路阻止！

新年会（^{はたびら}旗開き）を開催

乾杯に先立って、市東孝雄さんが「三里塚は今年50年目を迎える。その真価をかけて農地死守、第3滑走路阻止を闘う」と主催者あいさつを行った（1月10日 成田市並木町）



明けましておめでとうございます。反対同盟と支援の労農学市民は1月10日、新年デモと新年会（団結旗開き）を行いました。今年は三里塚闘争開始以来50年目です。午前10時30分から成田市天神峰の市東孝雄さん宅南側の開拓道路を出発点に、南台の市東さんの畑までデモを行いました。

午後1時から、成田市並木町のレストラン「ハナマサ」に場所を移し、135人で旗開きを行いました。

主催者あいさつで市東さんは「世界はキナ臭い。しかし、農地を死守し第3滑走路を阻止するために、反対同盟は闘争50年の、反戦の真価を示す」とあいさつしました。参加した労農学はこの発言を受け止め、共に闘う決意を固めました。また、市東さんの署名が1万641筆に達したことが報告され、最高裁への提出行動を1月28日に行うことが確認されました。今年もよろしくお願いします。

明けましておめでとうございます

1・25天神峰やぐら裁判へ

- 1月25日（月） 午前10時30分
- 千葉地方裁判所

市東さん署名1万641筆に

1 月 28 日、最高裁提出行動へ

市東さん裁判の担当を「第3小法廷」に決めた最高裁判所



「ここで農民として生きる」と落花生の選別を行う市東さん（1月8日）



市東さんの最高裁 5 万人署名が前進しています。「2015 年内 1 万筆を達成を」との呼びかけに、空港周辺地域の住民はじめ全国の労農学市民から署名が集まり、12 月 17 日に 1 万を超え、1 月 10 日現在、署名 10641 筆、賛同署名 447 筆です。この成果をもって、反対同盟と顧問弁護団は最高裁への提出行動を 1 月 28 日に行うことを決めました。

一方最高裁は、市東さんの裁判を第 3 小法廷に担当させることを決め、裁判長に大谷剛彦（68）裁判官をあてました。大谷氏は、1970 年に裁判官となり、1974 年に最高裁判所事務総務局付、2006 年、最高裁事務総長を歴任したエリートで、君が代不起立訴訟では原告敗訴の判決を行った反動裁判官です。

最高裁では、審理なしに突然判決が下されることが普通です。5 万人署名を何としても達成して、人民の怒りで、最高裁に不当判決を出させない力を示そう。

森村誠一氏らが賛同署名

「国の一存に従わせるやり方拒否する」

反対同盟は年末、安保法制と闘う文化人、知識人にあてて、市東さんの農地取り上げ反対への賛同署名を依頼する手紙を出しましたが、作家の森村誠一氏、勝目梓氏、伊佐千尋氏、宇宙物理学者の池内了氏らから「賛同」の返事が送られて来ました。「国の一存に住民に従わせるやり方を拒否する」「強制収用は強奪だ」「最後まで意志を貫いて下さい」などの激励文が添えられていました。



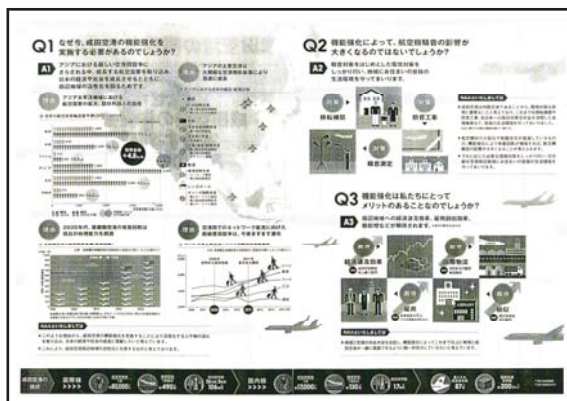
作家の森村誠一氏ら文化人から寄せられた賛同署名

第3滑走路 宣伝許すな NAAがパンフ

NAAは、第3滑走路建設の推進を呼びかけるパンフレットを配布し始めました。地域住民の「理解」・「協力」をまったく得られていない中で、でたらめな宣伝を始めたのです。NAAはパンフレットの中で、①空港機能強化の必要性②航空機騒音の影響について根拠のないキャンペーンをしています。しかし、第3滑走路建設が、予定地住民、膨大な数の騒音下住民の生活を破壊する「住民圧殺の滑走路」であることについては一言も触れず隠しています。

①についてNAAは航空旅客輸送量予測、首都圏航空需要予測なるものを根拠として航空需要は拡大するとし、第3滑走路を造れば空港間競争での敗勢をまきかえせるかのように言っていますがウソです。

成田が空港間競争に負けているのは、おびただしい農民・住民を犠牲にして造られた空港である上に、都心から70キロも離れ



成田空港会社が配布を始めた「第3滑走路パンフレット」

た内陸であるという、致命的欠陥によるものです。この根本問題を隠したき弁です。

健康脅かす騒音被害

さらに②の航空機騒音の影響についても、騒音による被害の深刻さについて考慮していません。厚木基地爆音訴訟でも明らかになっているように、騒音には殺人的な影響があります。しかも、成田は厚木の10倍の頻度で夜間騒音が起こっていて、今すぐ差しとめなくてはならないレベルなのです。飛行便数増加など論外です。

また、人命に直結する落下物について一言も触れていません。12月16日、成田市荒海地区、同24日、成田市西和泉地区で、連続して航空機部品の落下事故が起きています。事実上野放しです。B滑走路の1000メートル延長を阻止しよう。延長の先狙う24時間空港化を阻もう。

朝鮮半島で軍事的緊張高まる

北朝鮮の核実験、米爆撃機B52の挑発



グアムから日本上空を通過して朝鮮半島に派遣されたアメリカ軍のB52

1月6日、北朝鮮が反人民的な「水爆」実験を強行しました。これに対して米は10日、戦略爆撃機B52を朝鮮半島に急派する戦争挑発を行いました。この軍事的緊張は成田空港の軍事使用と密接に関係します。B52離着陸には4000メートル滑走路が必要で、東日本で備えているのは成田空港だけだからです。労農学の方で戦争策動を阻止しよう。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

芝山町、成田市旧下総町の住民から意見を頂きました。安倍政権や相川勝重・芝山町長への怒りが語られています。また「飛行回数の増加」への強い批判もなされています。

安倍首相も相川町長も住民のこと考えてない

芝山町・農業（女性）

「反対同盟ニュース」をいつも読ませてもらっています。かつては私も反対同盟の婦人行動隊としてずいぶんやり、夫は青年行動隊で逮捕されました。安倍さんも相川町長も私たちのことなんかまったく考えていない。本当に嫌な世の中になってきて、このままでは大変なことになってしまうと

思います。今も反対同盟が頑張っていることを心強く思っています。表に立ってやれないけれど応援しています。

これ以上、飛行回数を増やす必要などない

成田市旧下総町・農業（男性）

朝 6 時から 6 時半ごろがうるさくてしょうがない。ここら辺は防音工事対象から外れているから、騒音だけをもろに受けている。成田空港はそもそも内陸空港なのだから無理があるんだ。政府やN A Aは勝手な需要予測で「空港機能の強化が必要だ」などと主張しているが、冗談じゃない。住民の立場から言えば、これ以上の増便はまっぴらごめん。

最近では飛行コースを外れて飛ぶ飛行機も多く、まるで飛行直下だよ。3 本目の滑走路建設やB滑走路の 1000 メートル延長に加えて、深夜早朝便のさらなる延長まで要求しているという。まずは静かな住民の生活を優先しろと言いたい。

政府のTPP宣伝はウソだらけ

鈴木教授はTPPによる打撃は政府試算の10倍だと指摘した（上）。同教授は市東さんのパンフにも「農地取り上げ反対」の意見をよせてくれた（下）14年12月

東大・鈴木宣弘教授 TPP影響
国内対策なければ
農産物1.3兆円減
畜産への打撃大きく

農地取り上げの暴挙は誤り



どんな理由があろうとも、そこに住んで、農地を耕してきた人達から、家や農地を強制的に奪い、家族の生活を引き裂くことが、国にも何人（なんびと）にも許されるわけではない。これは犯罪的行為であり、この成田空港問題は、最初から完全に間違っていた。すでに多くの尊い人命も失われた。国や関係機関は、一日も早くこれ以上の暴挙をやめ、いまも関わっている人達、そしてすべての関係者に謝罪し、計画を変更すべきだろう。
（東京大学教授・鈴木宣弘さん）

東大・鈴木宣弘教授が指摘

東京大学の鈴木宣弘教授は、1月15日の農業新聞で、TPPによる農業への打撃を試算しました。それによると、政府の見積もりである1300億円の10倍、1兆3千億円に達することが分かりました。同時に鈴木教授は、「米国などではTPP批准が見通せない状況だ。日本でも批准反対の闘いを強めるべきだ」と語りました。鈴木教授は、市東さんの農地取り上げ反対のパンフに「国のやり方は犯罪行為だ」というコメントを寄せてくれています。